

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名	認知症対応型共同生活介護 グループホーム やまと			
開催日	平成 30年 7月 17日 (水) 14:00~15:00			
開催場所	グループホームやまと 地域交流室			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	利用者の代表	0名	地域包括支援センター	1名
	利用者の家族	1名	地域住民の代表	0名
	認知症の人と家族の会	1名		
事業所	グループホーム	1名		
出席者	事務局	1名		
欠席者	ご利用者代表・地域住民			

《 グループホーム 状況報告 》 (平成30年5月11日~平成30年7月10日)

基本目標	住み慣れた地域の中で、できることを共に喜びあい、愛あふれるグループホーム					
利用者の状況	入居者	18名 (定員:18名)				
	年齢	65~98歳 (平均年齢:85.88歳)				
	介護度別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	8名	5名	5名	0名	0名	1.85
入退居の状況	新規利用者	1名				
	退居者	1名				

《 主なご意見 》

◆ケアについて

『新規入居のご家族から、転倒、転落防止の為ベッドの4点柵使用希望があったが、ご家族に身体拘束に繋がる事を伝え、ケアや環境を検討していく事で3点柵使用で取り組む事で了解を得た。』  
事例に対して

- ・落ち着いたご利用者も関係作りをしながら、安心感のあるケアをしていけば落ち着かれます。
- ・一つ一つの説明を丁寧に繰り返し行って下さい。
- ・日々の中でご利用者がつぶやかれる言葉の中に、ケアのヒント・原因があります。
- ・専門職としてそれぞれの認知症を理解し、ケアをする事が大切です。

◆地域交流について

- ・オレンジカフェの認知・参加について、個人情報などの事もあるので、民生委員の方に直接お誘いをして頂いてはどうか。
- ・やまとは人口は増えつつあるが、自治会入会率は低く、関係作りが難しいです。

◆災害について

- ・地震の際や施設の作りの中でどこが強度が高いかを、建築業者に確認して置いたら良いです。
- ・水難などの避難は大平園に避難するようになっているが、どれくらいの時間を要するかを確認訓練して置いた方が良いのではないのでしょうか。